



生きることを物語に要約しないことで、
毎日の暮らしのどのようでもいひ細部にひそむ
不安が見えてくる、隠された日常の発見。
—— 谷川俊太郎

エスノグラフィックな手法で撮られた タウンムービーの快作

本作は「ショートストーリーが連なったオムニバス作品」と紹介するのは適切ではないかもしれない。言うなれば「ショートストーリーによって連結された町の物語」であり、主役は町そのものなのだ。その不思議な感覚は特殊な撮影手法によってもたらされている。

今回が初の劇場公開作となる監督たかはしろうたは、劇中にも登場する「上飯田ショッピングセンター」の建物の佇まいから強い映画創作の着想を得た。そして現地に何度も足を運び、町民の人々と交流するなかで、物語を制作していった。

その方法は民俗学におけるフィールドワークを思わせる。

主要キャストはエビス大黒舎に所属する若手俳優たち。こちらでも演技のレッスンを足を運び、それぞれの人物像と登場人物を丁寧にすり合わせていった。

上飯田町に実際に生活する人々も出演してもらっており、俳優たちの演技のなかに、いきいきとした町民の会話が溶け込み、フィクションにいろどりが与えられた。フレームの外の街の風景、生活、人々が、巧みにフレーム内に融合した、この時代にしか撮れないエスノグラフィックムービーが誕生した。

ストーリー



#1 いなめない話

生命保険の営業のヒロコが、乾物屋で働くマコトの依頼で訪問し営業をすることに。マコトが依頼してきたのに、なぜかヒロコに高慢な態度で迫るがその裏には…。



#2 あきらめきれない話

もうすぐ結婚するショウは、仲の悪い兄ツヨシに結婚式に出てもらいたく兄の家に行くが、兄は頑なに出たくないと言う。



#3 どっかいどっかい話

知らない場所に行つては、そこでもし生活したらということ想像するナオキ。ある日上飯田町を写真に撮っていると乾物屋のマコトと出会い、そこでつかの間の奇妙な関係が始まる。

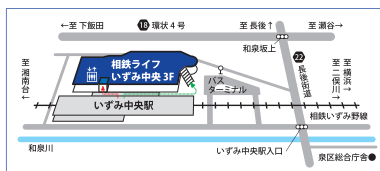
『上飯田の話』 竹澤希里 本多正憲 吉田晴妃 黒田隼子 日下部一郎 生沼勇 荒川流 上飯田町の皆様
監督/脚本/編集: たかはしろうた 撮影監督: 小菅雄貴 録音: 河城貴宏 助監督: 福地リコ 制作: 生沼勇
整音: 浪瀬駿太 音楽: 本田真之 絵: 西永裕央葉 DCP制作: 西後知春 宣伝協力: ガブリシャ本田

公式 Twitter Instagram @kami_iida_movie
公式 HP: <http://kami-iida-stories.com>



横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ

(指定管理者: 相鉄企業株式会社)
〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号
TEL 045-805-4000/mail fonte-info@sk-ims.com



●アクセス

電車: 相鉄いずみ野線「いずみ中央駅」下車1分
バス: 神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車3分



LINE

